

一関市地域おこし協力隊 募集要項 項目について

タイトルについて

一関地域を観光と物産から盛り上げる《観光・物産ディレクター》募集！

【1】募集の背景について

1-1 活動地域の紹介

一関市は、東北のほぼ中心にあたり、古くから交通の要衝として栄え、岩手県南、宮城県北エリアの中核としての役割を担ってきました。

観光コンテンツは様々あり、国の名勝「巖美溪」、舟下りで有名な「猊鼻溪」の二大渓谷、「神の絨毯」の名前で知られる紅葉が美しい栗駒山・須川高原、東北一の紫陽花園「みちのくあじさい園」などが主に知られています。また、中尊寺金色堂で知られる世界遺産平泉が隣町にあるため、密接な観光連携があり、市としては、年間1,842,374人（※1）の観光客が訪れています。

主な物産品としては、銘菓のお土産品はもちろん、秀衡塗の漆器、東山和紙、染物などの伝統工芸品や、一関の食文化でもある「餅」、農業地帯でもあるため、お米や夏秋野菜を含む様々な農産物やブロイラーなどの畜産物などがあります。

また、一関では観光誘客を目的とした様々なイベントが行われており「バルーンフェスティバル」、「もちフェスティバル」など、趣向を凝らしたイベントが賑わいをつくっています。特に、毎年夏に行われる「全国地ビールフェスティバルin一関」は全国各地から約33,000人の人が訪れ、その経済効果は約5億6,700百万円（※2）にのぼる一大イベントになっています。

（※1 令和4年調べ）（※2 令和元年調べ）

1-2 協力隊募集の背景について

一関市では、観光と物産振興のために一関市観光協会と連携し、様々な企画やイベントを開催し、観光・物産の振興を行ってきました。

しかしながら、コロナ禍のために令和2年度～4年度の期間は観光客数が大きく落ち込み、地域の観光事業者にとって大きな影響がありました。そこから立ち直るための様々な新しいアクションを起こそうにも、現状の観光協会にはマンパワーが不足しています。

また、物産振興については、同じイベント行事への出店等がマンネリ化しており、ビジョン設計や仕組みづくりなどこれまでとは異なる新たな発想での物産振興が求められています。

一関市の観光と物産は変革が迫られており、今回、地域おこし協力隊と一緒にその変革を起こしていけたらと考えております。

【2】 募集業務について

2-1 仕事の中身について

(2-1-1)基本業務

<①仕事概要>

（一社） 一関市観光協会の事務局に所属し、観光協会の業務（物産・観光情報発信、観光資源のブラッシュアップ、旅行業業務の補助等）を行いながら「全国地ビールフェスティバルin一関」や「一関の物産と観光展」などの各種イベントの企画運営にも携わっていただき、一関市への誘客につなげ、物産と観光の分野から一関を盛り上げていただきます。

<②業務詳細>

《観光振興業務》

- ・市内および近隣市町村の観光コンテンツの体験
- ・市が関係している物産、観光イベントへの参加・協力
- ・市と連携しながら「全国地ビールフェスティバルin一関(例年8月下旬)」への企画運営
- ・一関市観光協会の業務（物産・観光情報発信、観光資源のブラッシュアップ、旅行業業務の補助等）

《物産振興業務》

- ・市と連携しながら市外でのPRイベント「一関の物産と観光展」への企画運営（毎年、年8回程度、主に東京・仙台エリアで開催が予定されています。）など
- ・物産振興のための仕組みづくり・ブランドづくりなど

《共通業務》

- ・業務日誌の作成、年度末のレポートの作成
- ・取り組む事業に関するプレゼンテーションや報告
- ・その他一関市の観光・物産振興に関わることで、新規提案して認められた企画の実施など

<③1日のスケジュール（例）>

例として・・・

- 9:00 出勤・ミーティング、メール対応など
- 9:30 旅行業業務補助など
- 12:15 昼休憩
- 13:00 関係者との打ち合わせなど
- 15:00 観光資源のブラッシュアップ検討など
- 17:00 SNS等による活動の情報発信・業務日誌の作成など
- 17:30 退勤

<④週間のスケジュール（例）>

例として・・

月曜日・・ミーティング、メール対応、企画書作成や書類作成など

火曜日・・市内の観光コンテンツの体験など

水曜日・・地域の方との企画の打ち合わせなど

木曜日・・イベント準備など

金曜日・・翌週のスケジュール調整、企画書作成や書類作成など

土曜日・・休日（※）

日曜日・・休日（※）

（※地域のイベント・行事や、自身のイベント企画等の実施の場合は休日を別日に振替えて対応いただきます）

(2-1-2) 発展業務

<①仕事概要>

経験年数を積むことによる「全国地ビールフェスティバルin一関(例年8月下旬)」などのイベント業務のノウハウ蓄積を図ること。

また、一関の物産のブランディング・販路拡大などのノウハウ蓄積を図る。

(2-1-3) 3年間のスケジュール

<①1年目>

・一関の観光と物産を「知る」1年目

一関や近隣の観光コンテンツの体験したり、観光イベント等に参加・従事したりすることで、そこに関わる人々と出会い、その思いやイベントの様子を知る1年目です。できるだけ色々なところに行き、観光等イベントに参加し、交友関係を広めましょう。また、市内の様々な商品やその生産事業者について知っていきましょう。

<②2年目>

・一関の観光と物産の企画を「はじめる」2年目

1年目で観光や物産の状況・課題が分かってきましたら、観光協会の業務の傍ら、市と連携して、観光や物産のイベントの企画運営にも携わっていただきます。新しい企画にチャレンジするのも良いかもしれません。

<③3年目>

・一関の観光と物産の企画を「継続化・仕組み化」する3年目

1年目・2年目で企画運営に携わって事業を継続化・仕組み化できるようにブラッシュアップしていきます。物産ではブランド化へのチャレンジや、観光イベントのマニュアル作成での効率化なども図っていただきたいと考えております。

(2-1-4) その他の業務

地域おこし協力隊として、必須の日報や月報、報告書等の業務があります。
また、必要な研修の受講など協力隊や、一関市観光協会の職員として必要な業務を行います。

2-2 一緒に働く人の紹介について

(一社) 一関市観光協会事務局長の菅原清忠さん
一関市観光協会事務局長として長く勤め、市内の観光のことなら何でもご存じの方です。着任後は、主に菅原さんと一緒に働いていただきます。

一関市商工労働部観光物産課物産係 係長 佐々木浩二、主査 永澤恵里、主任主事 荻荘 瑤子
本募集の地域おこし協力隊の担当係となります。「全国地ビールフェスティバルin一関」や「一関の物産と観光展」の企画運営等も行う担当者になります。

全国地ビールフェスティバルin一関プロジェクト委員会 委員長 神崎良一さん
全国地ビールフェスティバルin一関を立ち上げから関わり、開催当初からイベント開催に尽力されてきた方です。本業では、市内で酒飯店とクラフトビールの飲食店を経営しています。

まちなか産直新鮮館おおまち 店長 梁川真一さん
農家・物産業者含む400件以上の出品者と取引を行い、豊富な品揃えで賑わう産直施設の運営に従事。「一関の物産と観光展」にもご協力をいただいております。

2-3 3年後について

3年間の経験を活かし、(一社) 一関市観光協会などで継続して観光・物産業に従事いただくことを考えています。
(ただし、あくまで現段階での想定になります。)

2-4 求めている人材について

- ・観光や物産振興に興味がある方
- ・イベントなどを企画した経験がある方
- ・パソコンの操作（ワード、エクセル、パワーポイント、メール）が最低限できる方
- ・インターネット、SNS等が活用できる方
- ・人の話を最後まで聞ける方
- ・簡単な英会話が話せる方

2-5 住む場所について

家賃は自己負担となります。ご自身で不動産会社などと契約いただく必要がありますが、住むエリアなどにお悩みの方は気軽にご相談ください。

2-6 アクセス（交通手段など）について

- ・東京からは東北新幹線で最短約2時間、高速道路インターチェンジもあり、交通の要衝として便利な市となっています。
- ・仙台へのアクセスは東北新幹線で約25分、直通高速バスも1時間に1本往復しており片道約1時間30分で移動することができます。
- ・また、東北各地にも高速道路や新幹線などを使って移動することができ、アクセスに優れています。
- ・勤務地の一関市観光協会は一ノ関駅から徒歩1分の場所にあります。

【3】 募集要項について

3-1 雇用関係の有無

(一社) 一関市観光協会との雇用契約

3-2 募集対象

(3-2-1) 応募条件(必須)

- (1) 総務省地域おこし協力隊の地域要件に該当する方
(3大都市圏の都市地域、政令指定都市等(過疎、山村、離島、半島等に該当しない市町村)から転出し、任期中は一関市に居住及び住民票の異動ができること)
※該当するか不明な方は、事前に気軽にお問い合わせください。
- (2) 普通自動車運転免許を取得している方 (※着任までに取得予定の方も含む)
- (3) 心身ともに健康で誠実に取り組むことができる方
- (4) 地方公務員法第16条に規定する欠格条項に該当しない方

(3-2-2)求められるスキル・経験

以下の5つは、必ず必要となるスキルです。

- ・人の話を最後まで聞けること
- ・パソコンの操作（ワード・エクセル・パワーポイント・メール等）が最低限できること
- ・インターネット、SNS等が活用できること
- ・行政と地域住民とのコミュニケーションが図れ、地域づくり活動に意欲と情熱があり、積極的に活動できる方

(3-2-3)歓迎するスキル・経験

次のいずれかのスキル・経験がある方を優先採用を検討します。

- ・観光等イベントの企画運営に関わった経験があること
- ・観光協会または観光業、旅行業での業務に関わった経験があること
- ・物販や店頭での販売業務に関わった経験があること
- ・簡単な英会話が話せる方

3-3 募集人数

2名

3-4 勤務地

(一社) 一関市観光協会（一関市駅前1）

3-5 勤務時間

原則、週25時間を目処に活動いただきます。(勤務日は応相談)

※指定時間以外に勤務した場合、割振り変更により勤務時間を調整します。

3-6 雇用形態・期間

- ・地域おこし協力隊《観光・物産ディレクター》
- ・(一社) 一関市観光協会と雇用契約を結んでいただきます。
- ・令和5年10月から勤務開始予定(時期についてはご相談ください)
- ・1年更新 最長3年

3-7 給与・賃金等

【給与等】

隊員は（一社）一関市観光協会に所属し、その活動の対価として予算の範囲内で給与の支給を受けるものとし、月額 233,330 円を上限とします。（この額から所得税、社会保険料等が別途控除されます。）

3-8 待遇・福利厚生

- ・【保険】健康保険、厚生年金、雇用保険に加入。
- ・【住居】家賃は自己負担となります。（活動地域に近いエリアで住居探しのお手伝いをしますので、採用決定後に担当者へご相談ください。）
- ・【車両】業務用の車両は活動費からリース予定。
- ・【補助金】起業する為の経費
（※任期 1 年終了後から、任期終了後 1 年までの間に事前に相談することで使用可能です。）

3-9 副業

定住するための活動として副業を行う場合、事前の届け出が必要です。ただし、勤務時間外に限ります。

3-10 申込受付期間

2024年2月29日までの期間で、応募があった都度、随時選考します。

【4】応募手続き

4-1 提出書類

- ①履歴書
- ②自己PR書類（A4 両面の任意様式。ワード、パワーポイント、その他のソフトを使用して作成のこと。写真やグラフ等の使用も可）

4-2 提出先

メールまたは郵送により一関市役所観光物産課の下記問い合わせ先まで送付してください。
※担当者より、提出確認後3日以内に受付確認のメールまたは電話を致します。担当者より連絡がない場合はお問い合わせください。

4-3 締切日

採用が決まった時点で終了。

【5】選考の流れ

1次選考：書類選考（書類提出後、1週間後を目処に選考を行います。）

↓

2次選考：現地面接（書類選考後、2週間以内を目処に行います。）

↓

選考結果通知（現地面接後1週間以内を目処に通知します。）

【6】その他

（1）募集に関する質問は、kyouryokutai.ichinoseki@gmail.com 宛にメールを頂きますようお願いいたします。

（2）一関の地域のことを実際に知っていただく事も重要であるため、可能であれば地域おこし協力隊インターン制度もしくは地域おこし協力隊現地見学等を活用して一関市にお越しいただく事をおすすめいたします。詳細は下記ウェブサイトをご覧ください。

<https://ichinoseki-kyouryokutai.net>

【7】問い合わせ先

【担当者】

一関市商工労働部観光物産課 課長補佐兼物産係長 佐々木 浩二

〒021-8501 一関市竹山町7-2 電話：0191-21-8415 FAX：0191-31-3037

メール：kojiss@city.ichinoseki.iwate.jp